

宇野圓空 うの げんくう 宗教學者、文學博士。明治十八年十一月二十七日京都生れ、昭和二十四年二月十五日歿（八五—九五）。明治四十二年東京帝國大學文科大學卒。佛教大學教授、龍谷大學教授。ドイツ、フランス留學のち東京帝大に戻り、昭和十六年東洋文化研究所教授、のち所長。原始宗教の研究、十七年モタライシアに於ける稻米儀禮（昭和十九年五月十八日白鳥書院）のち『帝國學士院恩賜賞受賞』。

他に、『宗教學』（昭和六年九月十日岩波書店「續古學叢書」）、『民族精神の宗教面』（昭和十年二月五日佛教時報社「佛教新興叢書」）、『轉換期の宗教』（昭和十二年七月五日有光社「精神文化叢書」）、『南方亞細亞の文化』（他十四名合著・續鐵道亞細亞經濟調查會刊）『新亞細亞編譯叢書監修』、昭和十七年十一月「千代大和書店」『新亞細亞叢書』等。

